

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年4月17日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年2月15日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	南ユタ大学(日本語名) Southern Utah University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年8月～2025年2月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 1月上旬～4月下旬 2 学期: 8月下旬～12月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	15000
創立年	1987年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 () (1 現地通貨 = 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため、明治大学の学費のみ
宿舍費	1645	234000 円	
食費	3000	42700 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	30	4200 円	
携帯・インターネット費	25	3500 円	
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	1400	200000 円	
被服費	70	10000 円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	1250	177137 円	
ビザ申請費	500	70000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	7920 (= 円)	56537 円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：ハリーリード空港 経由地：サンフランシスコ

復路 出発地：ハリーリード空港 目的地：ハリーリード空港 経由地：サンフランシスコ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ユナイテッド航空 料金：100590 円

復路 航空会社：全日空 料金：76530 円 ∴合計：177137 円

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：Expedia)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：シダーホール) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 3)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学からの案内

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋やキッチンが共用なのは、良い面と悪い面がある。キッチンには冷蔵庫があるが、置いておくとすぐ盗まれる。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 現地大学の相談窓口、明治大学の国際連携事務室、友人)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学周辺は治安がとても良かったため、あまり対策はしていなかった。夕方以降はなるべく友人と一緒に行動した。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校や寮にはWi-fiが整備されていて困ることはなかった。外に出ると電波が弱くなる時がよく合った。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金は出発時に空港で換金したものをを使った。生活面や支払では主にクレジットカードを使っていた。

銀行口座と紐づけたキャッシュカードも持っていたがあまり使わなかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Acculturation	文化変容
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	抗議(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回
担当教授	Keri Romine
授業内容	留学生は必修の授業で、大学の事について知り、新しい環境文化に適応するための講義
試験・課題等	毎週の小テストと期末に行われるプレゼン、課題
感想を自由記入	教室内の生徒は全員留学生であるため、留学生コミュニティが広がる。単位を取るのも難しくはない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Backpacking	バックパッキング入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Diana Hall
授業内容	バックパッキングの基礎知識を身に着け、実践につなげる
試験・課題等	授業の最終週に一泊二日のバックパッキング旅行に参加する
感想を自由記入	アウトドアの知識を身に着け、周辺の山にバックパッキング旅行にも行ける。装備は高いが、レンタルすることもできるため、ユタの自然とアウトドアを楽しみたい人にはおすす め。半期で終わる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Yoga All Levels	ヨガ
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が1回
担当教授	Peyton Barney
授業内容	ヨガの基本的なポーズを行う
試験・課題等	なし。出席で評価される
感想を自由記入	授業外の課題がなく、用意しなければいけない物も特にないため取りやすい。あまり英語を話す機会はない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Living in a Globalized World	グローバル化の世界で生きる
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Kholoud Al-Qubbaj
授業内容	世界各国の文化、宗教、歴史などの特色に関する講義を聞いたりビデオを視聴したりして理解を深める。マイノリティや差別の歴史、マイクロアグレッションについても扱う。
試験・課題等	いくつかの小課題とレポート、プレゼンテーション、出席で評価される。
感想を自由記入	教授がイスラム圏出身で、留学生の出身国の文化にも興味を持ち、親切にしてくれる。訛りが少しあり、聞き取りにくい部分もまれにあるが慣れれば問題はない。レポートは分量が多く、形式も厳しいため注意して取り組む必要がある。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
General Psychology	一般心理学
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Doug Richards
授業内容	心理学の定義、歴史、基本的な理論を主に学び様々なテーマについて考える。
試験・課題等	中間と期末の試験とレポートで評価される。出席も評価に入る。
感想を自由記入	心理学の専門用語を覚えるのが難しい。内容は面白く、今まで心理学とは無縁だった人でも楽しめると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Communication in Human Interactions	人間関係におけるコミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Melissa Funk
授業内容	様々な関係の間で起きるコミュニケーションの形と問題点を扱う
試験・課題等	毎週教科書を読んで予習してくる。出席も大事な評価基準になる。 テストはオンラインでおこなわれるが、オープンブックのテストなので難しくはない。
感想を自由記入	発言も多い授業で、生徒たちが積極的に意見を言ったり質問をする。先生がとても親切で、特に留学生は注意してみてくれる。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	明治大学入学
	8月～9月	留学を決める、TOEFLの勉強、受験
	10月～12月	TOEFL受験、交換型留学への応募
留学開始年	1月～3月	現地大学への書類の提出や寮の手続き、授業登録
	4月～7月	ビザ、航空券の取得
	8月～9月	渡航、留学開始
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

南ユタ大学を留学先にした理由は、自然に囲まれた落ち着いた環境と治安のよさでした。一方で南ユタ大学があるシダーシティは都市部と比べると小さく静かで、娯楽の面では少し不便に感じるのではないかと不安でした。しかし留学が始まると、コミュニティの小ささが大きなメリットであることに気づきました。この大学は世界中から留学生が集まる一方で、キャンパスは親しみやすく、人と人の距離がとても近い大学です。留学生活では、人々の温かさに何度も助けられました。授業で困ったときや、生活の中で不安を感じたときも、周囲の学生や教職員が親切に声をかけてくれ、安心して過ごすことができました。南ユタ大学は、困ったときにすぐに支えてくれる人たちがいる場所です。

ぜひ、南ユタ大学ならではの「多様性」を積極的に活かして、自分から交流を広げてみてください。国際交流イベントやクラブ活動も多く、いろいろなバックグラウンドを持つ友人と出会うチャンスがあります。それによって、視野が広がるだけでなく、自分自身の成長にもつながります。

留学中は不安や困難に直面することもあるかもしれませんが、無理をせず周囲を頼りながら、一つひとつの経験を大切にしてください。南ユタ大学での生活は、きっとかけがえのない財産になるはずです。心から応援しています。